

使用上の注意

GSアシバツナギ ステンめっき据置タイプ

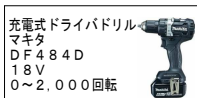
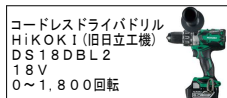
品番	適応最小・最大壁厚 (mm)	下地厚 (mm)	最大引張強度 N (kgf)t=mm	参考 ドリル径
New ABWS-26 p 1.0 細目ネジ	・ 10	鉄 1.6~3.2	1.6t- 3,100 (316)	φ 5.0~ φ 5.1
New ABWS-51 p 1.0 細目ネジ	・ 35		2.3t- 7,100 (724)	
New ABWS-76 p 1.0 細目ネジ	21・60		3.2t- 9,600 (978)	
ABWS-26 p 1.8 粗目ネジ	・ 10	鉄 1.6~3.2	1.6t- 3,099 (316)	φ 5.0~ φ 5.1
ABWS-51 p 1.8 粗目ネジ	・ 35		2.3t- 4,992 (509)	
			3.2t- 6,188 (631)	
ABWS-76 p 1.8 粗目ネジ	21・60	鉄 2.3~4.5	2.3t- 4,864 (496)	φ 5.2~ φ 5.3
			3.2t- 5,943 (606)	
			4.5t- 14,220 (1,450)	

推力 20Kgf~25Kgf

但し、工具に過大な推力を加えると、回転にブレーキを掛け穴開け・ネジ立ての能率低下を招きます。

推奨回転数：毎分1,300~1,700

推奨工具 (回転専用のスクリュードライバーです。下記は2020.03現在を基にしています。)



- ① (社) 仮設工業会編の足場工事マニュアルに準じて、十分な安全率を考慮して下さい。
- ① 許容荷重 = 最大引張強度 ÷ 安全率 (法令の定め・施工現場の環境を考慮し安全率は2.0以上を目安にして下さい)
- ① 機能的には引張強度 ≠ 圧縮強度ですが、(社) 仮設工業会編の足場工事マニュアル記載の通り、壁当てジャッキの使用は施工案件毎に検討対応が必要です。
- ① 推奨工具は回転専用スクリュードライバーです。14.4V以上の機種で毎分1,300~1,700回転で締結して下さい。
- ① 推奨工具以外のインパクトレンチ・インパクトドライバーでは、適正な穴加工・ネジ加工が行えず強度の保証は致しかねます。
- ① 鉄下地が厚い場合でネジ加工がスムーズに行えない場合は、回転を下げてトルク調整をして締結して下さい。
- ① 付属の専用ビットの四角No.3を必ず使用して下さい。
- ① 専用ビット及び推奨工具以外の使用では、ネジ頭部のリセス及びビットの破損を招き施工トラブルが生じます。
- ① 壁つなぎの雄ネジ部に傷や錆び等のままで接続しないで下さい。
- ① 推奨工具を使用せず下穴を別工具で穴開け加工しての締結では、記載の最大引張強度は得られません。
- ① 鉄下地に下穴を開ける場合は、参考ドリル径を基に回転専用工具を必ず使用して下さい。

イファス株式会社 / 株式会社シグテックファスナー

詳しい情報はこちらから <http://www.iifas.jp> Email: sales@iifas.jp